

かほく
ワークシート



金メダル獲得から一夜明け、記者会見で笑顔を見せるフィギュアスケート男子の羽生=18日、韓国・平昌
(写真部・川村公俊撮影)

問題

- ①羽生選手にとって、取るべきものとは何ですか。
- ②次のモチベーションは何ですか
- ③羽生選手の言葉から学びましょう。
「つらい時期」は「 」だと思う。
- ④羽生選手へお祝いの言葉を贈りましょう。

(小学3年生以上／総合的学習)

【平昌共同】平昌冬季五輪のフィギュアスケート男子で66年ぶりの2連覇を達成した羽生結弦(23)＝ANA、宮城・東北高出＝が一夜明けた18日、平昌で記者会見した。現役続行を宣言し「本場に幸せ。取るべきもの(金メダル)は取った。モチベーションは4回転ア

クセル(4回転半ジャンプ)だけ」と、世界初の大技成功を次の目標に掲げた。羽生は国外メディアには英語で対応。右足首故障からの復帰戦で痛み止めの薬を飲んでいたと明かし「順風満帆だったら金メダルは取れていない。またつらい時期は来るかもしれない」と述べた。

銀メダルを獲得した宇野昌磨(20)＝トヨタ自動車＝も記者会見に臨み、羽生について「改めてトップだと証明した。自分が追い掛け続けることに変わりはな

羽生「次は4回転半」
フィギュア男子連覇から一夜



平昌冬季五輪のフィギュアスケート男子で、仙台市出身の羽生結弦選手が、66年ぶりに2連覇を達成しました。けがを克服しての快挙をみんなで祝いたいですね。

(日本新聞協会NIEアドバイザー・
仙台市東六番丁小教頭 阿部謙)

出題者から